



**市民及び県民意思の軽視を許さず!!
オスプレイ配備を断固として反対する市議会**

6月17日に開催された「普天間飛行場へのオスプレイ配備等に対し固定化を許さず早期閉鎖・返還を求める宜野湾市民大会」に参加し、MV-22オスプレイ配備反対と米軍基地普天間飛行場の即時閉鎖と運用の停止を強く訴えた。

ぎのわん 第84号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411(内337)
印刷 株式会社東洋企画印刷



市民大会でオスプレイ配備反対のシュプレヒコールを上げる市議団

定例会の経過

6月	8日	議会運営委員会
	12日	会期の決定、案件上程、説明 全員協議会
	14日	上程案件に対する質疑、 委員会付託
	15、18日	常任委員会議案審査
	20～22 25～27日	一般質問(質問者23名)
	25日	議会運営委員会
	26日	議会運営委員会
	27日	議会運営委員会
28日	各常任委員会の審査報告及び表決	

一般会計補正予算(第1号)を可決

一括交付金総額15億9,000万円を
本市69事業の財源へ

6月 定例会 会期 6月12日～6月28日

第370回宜野湾市議会定例会は、6月12日から6月28日までの17日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成24年度一般会補正予算(第1号)や都市公園条例の一部を改正する条例のほか、市立学校施設の使用料徴収条例の一部を改正する条例を含む26件にわたる議案等が審議され、23名の議員による一般質問も行われました。

MV-22オスプレイ配備に断固反対する要請行動



各関係機関への直接要請

■七月三日(県内)

- 在沖米国総領事
- 外務省沖縄担当大使
- 米海兵隊太平洋基地司令官
- 沖縄防衛局長

今定例会において、議会運営委員会から提出された「米軍基地普天間飛行場へのMV-22オスプレイの配備に断固反対する抗議決議及び意見書」は、全会一致でそれぞれ可決され、後日議員団は、県内の関係機関に対して要請行動を行った。

議員からは、相次ぐ事故に対する説明責任を問うことや、配備反対に関する要請行動は今回で二度目であり、普天間飛行場へのさらなる危険機種の配備計画を断固阻止するも



外務省沖縄事務所 竹内大使への要請

のであるとの発言に対し、レイモンド・F・グリーン米国総領事からは、オスプレイの事故原因については調査が終了するまでは日本国内での飛行を行わないよう配慮するものであり、地域住民が懸念することを説明し、納得いただけるよう取り組んでいきたいとの説明がなされた。

また、真部沖縄防衛局長からは、このまま老朽化したC-146を使用し続けるのかといった問題もあり難しい部分もあるが、宜野湾市民を代表した市議会の強い決意であることを本省にきちんと報告し、相次いだ二件の事故に関しても危険かどうかも含め、調査をした上で対応を決定したいとの説明がなされた。さらに議員団は、その他の関係機関に対しても配備反対に向けて、確固たる決意を訴えた。



沖縄防衛局 真部局長への要請

6月定例会 主な議案の 審議経過

一般会計補正予算(第一号)

可決

審査では、市民会館施設整備事業の内容について質疑がなされ、市民会館は築三十年が経過し、施設の老朽化に伴い、年次的な計画に基づいて今年度はトイレの改修をしていきたいとの答弁に対し、委員からは多くの市民が利用する施設であり、火災や落下物等の事故は大惨事につながりかねないため、防火、安全対策については早急に取り組んでもらいたいとの要望がなされた。

また、これまで受けてきた国庫補助金が一括交付金へ組み替えとなる理由についても質疑があり、大規模駐留軍用地等跡地利用推進費は今年度から一括交付金に組み替えて事業を実施するよう国からの指導があるとの説明がなされた。そのほか、道路景観整備事業

業や震災等緊急雇用対応事業に関する多くの質疑、提言等がなされ、全会一致で可決された。

公園条例の一部改正

可決

議案の概要は、市内の都市公園及びその他公園の管理を、平成二十五年より施設を管理する指定管理者の業務拡充を図るため、条例の一部を改正したいとの内容である。審査では、市内公園管理における指定管理の拡大範囲について質疑がなされ、都市公園施設三十六カ所及びその他公園施設三十カ所の合計六十六カ所に範囲を広げていく予定であるとの答弁があり、表決においては反対の討論がなされ、賛成多数(賛成二十五、反対二)で可決された。

学校施設の使用料徴収条例の一部改正

可決

議案の概要は、市立学校施設の使用についての規定を整備し、市内公共体育館施設使用料の徴収形態との整合性を図るため条例の一部を改正したいとする内容である。審査では、使用料の変更内容について質疑がなされ、校庭や屋内運動場は一時間当た

市議会の動き

◆倉浜衛生施設組合議会議員(新議員) 呉屋 等
(旧議員) 岸本 一徳

議員の表彰

去る五月二十三日、全国市議会議長会から、十年の永年功労により次の議員が表彰されました。
上地 安之 議員(善友名)

市議会を傍聴してみませんか。

本会議は、一般に公開されており、傍聴受付で住所、氏名等の記入等を行えば、どなたでも自由に傍聴することができます。九月定例会は、九月七日(金)に開会予定です。



一般質問

今定例会は、23名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 佐喜眞 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 宮城 茂雄
- 水道事業管理者 新田 宗仁
- 総務部長 宮城 聡
- 企画部長 和田 敬悟
- 基地政策部長 比嘉 秀夫
- 福祉保健部長 玉那覇 豊子
- 市民経済部長 宮城 豊信
- 指導部長 古堅 宗篤
- 消防長 大嶺 清光
- 会計管理者 國吉 秀子
- 建設部次長 石原 昌恵
- 教育部次長 玉那覇 清

本市の公共工事発注のあり方について



伊佐光雄 議員

◎議員 公共工事発注の仕方についてお聞きしたい。

◎教育部次長 は、これも小学校屋内運動場増改築工事については公募を終えていて、は、これも小学校校舎新築工事、真志喜中学校屋内運動場武道場増改築工事については、今後、公募を予定している。

◎議員 県内十一市で公募を行っているのは本市だけで、他市は一般競争入札、指名競争入札となっているが、要綱から公募という字句を削除していただけないか。

◎市長 公募型指名競争入札から指名競争入札への移行は、部内で慎重に検討する必要がありますが、また他市町村の状況や移行の影響などを調査研究し対応していきたい。

◎議員 公募はデメリットが大いということ、また地元優先発注に力を入れ、地域経済活性化に向けた支援を行うということを念頭に置いて、佐喜眞市長ならではの要綱をつくらせていただきたい。

ウチナーグチの普及について



宮城勝子 議員

◎議員 ワシタ島のウチナーグチの普及促進についてどのように考えているか、お聞きしたい。

◎市長 ウチナーグチはしっかりと次の世代へ残すために普及促進はふだんからやるべきであると考えている。

◎議員 学校におけるウチナーグチの普及促進についてどのように考えているか、お聞きしたい。

◎指導部長 総合的な学習の時間において「郷土の歴史と文化」というテーマで取り組むことによりウチナーグチを学ぶことができると考えている。また、ある小学校では方言のクラブ活動を実施しているということもあり、本市の子供たちの方言に対する認識が高まってきていると考えている。

◎議員 他市町村においてはウチナーグチ大会を開催しているということもあるのですが、ぜひ宜野湾市でも市が主催して大会を開催していただきたい。

資産固定地課税と通知について



平良眞一 議員

◎議員 地目が畑から雑種地になると税額が約七倍になるということだが、実際に地目変更したことにより問い合わせは、どの程度あったのか。

◎総務部長 口頭受理で五十件、そして電話で五十件、合わせて百件程度あった。

◎議員 地目変更により課税額が大きく変わる場合は、事前に何らかの対応をすべきではないか。

子育て支援の拡充について



大城政利 議員

◎議員 本市の待機児童における一歳児及び二歳児の児童数の割合が高いが、その対策について伺いたい。

◎福祉保健部長 認可保育園へ一、二歳児の受け入れについて随時相談をしており、平成二十四年四月に一、二歳児の弾力化前倒しについての検討を打診し、六月に七十四人の弾力化が可能となっている。

◎議員 公約実現を目指して、取り組んでいただきたい。



庭園で遊ぶ子供たち

公共火葬場の建設について



佐喜真進 議員

◎議員 公共火葬場建設の進捗をお聞きしたい。

◎企画部長 公共火葬場の建設整備については、本市を含む関係五市町村で協議会を開催し、その中で(仮称)中部南地区火葬場斎場建設検討委員会設置要綱案等を成案し、各市町村で決裁を行い、七月には建設検討委員会を正式に発足させ、九月の初旬までには基本構想・基本計画につ

てコンサルタントを決め、契約発注を行いたいと考えている。

◎議員 七月には建設検討委員会が正式に発足するということが、そのことについて副市長から意気込みをお聞きしたい。

◎副市長 私が宜野湾市の建設検討委員会の委員になるので、積極的にリードして進めてまいりたいと考えている。

◎議員 今年度中に予定されている候補地の選定は最大の難問であると思われるが、どうか建設に向けてしっかりと頑張っていたください。

基地災害予防計画及び相互応援計画について



桃原 朗 議員

◎議員 基地災害が発生した際には、基地災害予防計画及び米軍との相互応援計画に基づき、地域住民への被害防止及び応急対策を講ずるとのことだが、自然災害が発生した際の情報伝達手段であるFMラジオ局設置の必要性についてお聞きしたい。

◎総務部長 災害時には市民に対し、主に防災行政無線にて災害状況等を放送しており、

市内小中学校通学路の安全対策について



宮城 克 議員

◎議員 今年度の交通安全対策事業において、カラー歩道の計画があるか確認したい。

◎建設部次長 志真志小学校から西側の四百メートルのカラー歩道整備を予定している。

◎議員 施工時期はいつごろを予定しているか。
◎建設部次長 ことしの十二月から来年の一月ごろになるかと考えている。

未開通のため、宜野湾区内の公民館周辺が迂回路として、登下校時は非常に混雑し、危険な状態である。志真志小周辺を早急に実施し、市道宜野湾六号、七号のカラー歩道整備も提案したいかがか。

◎建設部次長 提案のある市道宜野湾六号、七号については迂回路として非常に交通量が多いことは認識しているが、当該道路は側溝の音鳴りの改修要望もあり、その改修後に考えてまいりたい。

◎議員 予算のあり方や諸事情については理解するが、ぜひ再検討していただきたい。



志真志小学校正門前のカラー歩道

児童生徒の通学路安全対策について



伊波一男 議員

◎議員 市内各小中学校の通学路の安全点検に関し、調査及び取り組みを行っているのかどうかお聞きしたい。

◎指導部長 ことしの五月に教育委員会において、「安全指導強化月間」と銘打ち、その期間中に調査を行い、現在の回収作業を行っている。

◎議員 通学路の安全対策はどのように行っているのか。
◎市民経済部長 「横断歩道

や「横断歩道注意」等の路面標示が薄くなり、見えにくくなっている箇所も考えられる。関係機関等と連携しながら、子供の目線に立った通学路の交通安全確保に取り組みたい。

◎建設部次長 交差点での死角対策や隅切り等を行っており、地権者の協力を得て隅を切った箇所もある。隅切りが困難な箇所については、カーブミラー等を設置し、対応したい。

◎議員 通学路安全対策協議会等を立ち上げ、市長が先頭に立って問題を解決していただきたい。

宇地泊交差点の右折帯の設置について



濱元朝晴 議員

◎議員 市道宇地泊・真志喜2号の渋滞の原因の一つとして、ガジュマル公園から国道五八号に接する付近に段差があり、そこで車が減速をすることが挙げられるが、把握はしているか。

◎建設部次長 市道宇地泊・真志喜2号の渋滞については、把握している。段差については、現場を確認し、渋滞の解消に向けて、検討したい。

◎議員 宇地泊交差点内に右折専用引き込み道路をつくることにより、渋滞の解消がなされると思うが、いかがか。

◎建設部次長 宇地泊交差点内の中央分離帯の撤去が困難であり、進捗していない状況である。宇地泊土地区画整理事業において、大謝名交差点が七月に開通予定であるので、その交通状況も見ながら検討していきたい。

◎議員 右折帯の設置が困難であれば、時差式信号機の設置により、早急に解決できるのではないか。できることからやっていたください。



真志喜地域にて指定された津波一時避難ビル
(パシフィックテクノカレッジ学院)

地域防災計画について



宮城 司議員

◎議員 基地内避難経路や西海岸地域における避難ビルの指定状況について伺いたい。

◎総務部長 基地内への立ち入りについて米軍との協定締結には至っていないが、双方の防災担当部門で協議を進める体制づくりを図っていくことを確認している。また、避難ビルについては来週以降、協定を締結する予定である。

◎議員 災害時要援護者の登録は手上げ方式や個人情報保護条例等がネックとなつて進展していない状況にあるが、これまでも多くの議員から提言のあつた情報共有方式にしてこなかったのはなぜか。

◎総務部長 那覇市は個人情報の問題をクリアするために要綱の策定や民生委員と覚書を交わす等、取り組んでいると聞いている。本市も今後は、その辺も進めていきたい。

◎議員 災害時要援護者の台帳作成は防災対策の入り口だと考える。この台帳を活用できる体制づくりに、しっかりと取り組んでいただきたい。

第五期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について



岸本一徳議員

◎議員 これまでの介護予防事業の効果について伺いたい。

◎福祉保健部長 高齢者の介護予防事業参加後の介護認定率から見ても、予防効果はあると考えている。今後は重点的に二次予防事業への参加を促していきたいと考えている。

◎議員 第五期計画では介護支援ボランティア制度を実施するとしているが、その詳細について伺いたい。

◎福祉保健部長 平成二十五年度にモデル地区として自治会五カ所で取り組みを行い、それを参考に、その他の自治会へ拡大を図ってまいりたい。

◎議員 これ以上介護保険料を値上げしないよう、この三年間はしっかり目標を持ち、取り組みを強化しなければならぬと考える。介護長寿課だけでなく全庁的な対策が必要と考えるが、いかがか。

◎市長 介護保険事業の予算は年々ふえており、危機感については認識している。組織体制の強化も含め全庁的に取り組んでまいりたい。

自治会育成と加入状況について



我如古盛英議員

◎議員 自治会加入世帯数は減っているが、自治会育成運営補助金が増額になっている理由について伺いたい。

◎市民経済部長 自治会育成運営補助金は加入世帯数ではなく、全世帯数に応じて補助額を決定しており、世帯数の増加に伴い増額となっている。

◎議員 去る三月議会で自治会公民館の建設については、今後五カ年計画を決定して、

再度変更計画を沖縄防衛局に提出するとの答弁があつたが、提出はされたのか。また、上大謝名学習等供用施設の建設にかかる概算要求の結果についてもあわせて伺いたい。

◎市民経済部長 自治会公民館建設の五カ年計画については、自治会の意向調査を行う準備をしている。また、上大謝名区に関しては五月十日付で沖縄防衛局に概算要求を提出し受理されている。

◎議員 自治会運営の当初の目的は市政運営と市民福祉向上のためであり、今後も頑張っていたいただきたい。

市営住宅の整備計画について



知念吉男議員

◎議員 本市は市営住宅が少なく、特にひとり世帯の入居募集が少ないため、もっとふやしてほしいとの多くの声があるが、募集状況と今後の計画について伺いたい。

◎建設部次長 五月三十日から六月十二日まで募集を実施し、二十七戸の募集に対し、二百六十九件の応募があり、九・九六倍となっている。今後は、伊佐・伊原市営住宅

建てかえが完了する平成二十七年に新市営住宅の募集を行うしていきたいと考えており、県営住宅の募集情報も提供していきたいと考えている。

◎議員 公営住宅法に基づいて、民間住宅の借上げによる解決方法も検討してもらいたい。どのようにお考えか。

◎建設部次長 県内の自治体でも取り組みはなされておらず、本市においても今のところ検討していない状況である。

◎議員 民間住宅の借上げ等を県に要請しながら、空き家待ち解消に向けて、ぜひ前向きに検討していただきたい。



着々と建設が進む伊原市営住宅

市長の選挙公約と一括交付金について



森田 進 議員

◎議員 今回の補正予算の内容から、市長の選挙公約が見えてこない。今後の公約実現に向けた考えを伺いたい。

◎企画部長 市長の公約は、新たな予算を伴うもの、既存の予算の中で工夫できるもの等さまざまあり、オスプレイ配備反対の市民大会の開催や雇用・企業対策室の新設も公約が反映されたものである。さらに、給食費の無料化につ

いても、教育委員会と今調整しているところである。

◎議員 今回基金繰戻しで約二億六千万円あるとのことであり、市長公約の学校給食費や小学校六年生までの医療費無料化を実現する財源として活用し、十月から開始することはできないものか。

◎企画部長 両事業とも単年度だけの財源調整では実施できる事業ではないため、長期的に事業実施できる財源や体制の検討を含めて、もう少し議論していきたい。

◎議員 ぜひ十月から、この二本の公約を実現してほしい。

市内小中学校2学期制見直しについて



呉屋 等 議員

◎議員 平成二十三年度十月に実施されたアンケートによると、三学期制に戻してほしいという保護者の意見が大多数であるが、その後検討委員会は設置されているのか。

◎指導部長 今すぐ検討委員会を立ち上げる状況ではなく、教育委員会指導部を中心に研究会を立ち上げ、準備段階としての学習会を進めているところである。

◎議員 教育委員会以外の方も入れた第三者委員会を早急に設置し、二学期制について研究検討した上で、必要であれば三学期制に戻すべきであると提言するが、御見解を伺いたい。

◎教育長 二学期制は授業時数や学習内容という教育の核心にかかわることであるので、もう一度原点に立ち返り、保護者や先生方の実際の声をしっかり受け止め、効果が整理できるようにしていきたい。

◎議員 学校現場の意見もしっかりと聞きながら、教育行政に取り組んでもらいたい。

防犯灯のLED電球への取りかえについて



比嘉憲康 議員

◎議員 現在ある防犯灯すべてをLEDにした場合、どれくらいの予算がかかるのか。また、費用対効果についても伺いたい。

◎市民経済部長 平成二十三年度実績で三千二百六十二灯の防犯灯が設置されており、すべてLED防犯灯に取りかえた場合、費用が四千五百六十六万八千円かかる計算になっている。また、費用対効

果として、電気料金の削減により約六年から七年半で回収できる計算になる。

◎議員 自治会の電気料金の負担軽減など、さまざまな効果があると思うが、まだまだ自治会の負担は大きいため、一括交付金や防衛補助の活用を検討できないものか。

◎企画部長 一括交付金の活用は厳しいが、防衛補助をとりつけての設置については協議、検討していきたい。

◎議員 市長の目指すエコシティ構想で、このLED化は有効な施策だと考えるため、ぜひとも実施してもらいたい。



学校給食風景

浦添市西原への場外舟券売り場計画の影響等について



知名康司 議員

◎議員 浦添市広栄地区、西原二丁目の遊技場跡地に場外舟券売り場の建設計画が持ち上がっているとのことだが、地元の広栄自治会や周辺地域はどのような対応なのか。

◎企画部長 この件については、去年の十二月に業者の説明会がなされており、その際のアンケート調査で地元の広栄自治会は賛成をする意思表示を示しているようである。

また、近隣自治会及び浦添市内の小中学校のPTAからは市へ反対の要請をしていると伺っている。

◎議員 計画予定地は浦添市であるが、近隣の嘉数、真栄原地域には小中学校もあり、当然本市も影響を受けるかと思う。そこで市としては、どのような対応をしていくのか。

◎企画部長 場外舟券売り場の設置などは、児童健全育成の面、治安の面等で不安要素がたくさんあるため、近隣の嘉数、真栄原自治会だけではなく広く市民の御意見も伺いながら対応していきたい。

認可外保育園への給食費の助成について



島 勝 議員

◎議員 認可外保育園の支援状況において、現在の補助対象施設数と助成額、対象児童数及び一人当たりの補助額について伺いたい。

◎福祉保健部長 補助対象施設が三十三施設、助成額が三千六百五十一万二千四百十九円である。また、一人当たりの月補助額は、認可保育園入園児童が八万五千七百三十七円に対し、認可外保育園入園

児童は二千三百九十円と約三十六分の一となっている。

◎議員 今回の一般会計補正予算にて、保育助成金が増額となったのは評価するが、給食費に関し、一括交付金の活用は検討したのか伺いたい。

◎福祉保健部長 県において待機児童対策特別事業で児童の処遇向上を図る支援として、一括交付金を活用し、牛乳代等の増額が検討されている。今後、県から正式な通知があり次第、再度検討したい。

◎議員 一括交付金で給食費についても、ぜひ活用を検討していただきたい。

学習等供用施設の整備について



◎議員 学習等供用施設建設にかかると自治会負担は軽減されないという思いがある。建設に伴う備品購入に特定防衛施設周辺整備調整交付金、いわゆる九条交付金を活用することができないか。

◎市民経済部長 備品購入に活用できる可能性はあると考えている。関係部署と協議の上、検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ今後の公民館の備品購入に当該交付金を活用していただきたいかがか。

◎企画部長 九条交付金は各年度に交付される額に応じて計画を立てている状況であり、交付額も見極めながら検討してまいりたい。

◎議員 喜友名公民館の改修事業の進捗について伺いたい。

◎市民経済部長 今年度は改修にかかる概算要求をしており、来年度に実施設計と改修工事を同時に行う予定である。

◎議員 上大謝名を初め、喜友名公民館の改修もしっかりと進めていただきたい。

公共空間における防犯カメラの設置について



◎議員 今年度より特定防衛施設周辺整備調整交付金に防犯カメラ設置事業も含まれるようになったことについて、お聞きしたい。

◎市民経済部長 防衛補助のメニューの中に防犯カメラ設置事業も入っている。活用については今後、関係部署と調整を図りながら検討してまいりたい。

◎議員 公共空間への防犯カメラ設置について、既にうるま市、宮古島市が設置に向けて取り組んでいるようだが、本市の防犯カメラ設置の取り組みについて伺いたい。

◎市民経済部長 平成二十四年度の新規事業として、防犯カメラ設置拡張事業を実施することを宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会において承認されているので、今後防犯カメラ設置の実現に向け、関係機関や関係部署との協議を行う取り組みでまいりたい。

◎議員 しっかりとした対応をお願いしたい。

市長が加入している日本会議について



◎議員 市長が加入されている日本会議、どのような団体の活動が続いているのか。

◎企画部長 どういった団体かということについて、日本会議は、平成九年五月に日本を守る国民会議と日本会議とが統合し設立された団体であり、「美しい日本を守り伝えるため、誇りある国づくりを」を合言葉に政策提言等を行う

国民団体であります。

◎市長 これからの行動については、日本会議が持つさまざまな政策あるいは施策等について吟味しながら、私が同意できるものに対しては、やっていきたいと思います。

◎議員 日本会議は改憲団体、日本を守る国民会議と右翼団体の日本を守る会が組織統一して発足したが、日本会議であると理解しており、政治思想は自由ですから私も言いませんが、宜野湾市長ですから、一つの思想に偏ることなく、しっかりと公平な市政運営をお願いしたい。

普天間飛行場の爆音被害について



◎議員 爆音による子供たち、妊婦への被害等の調査を本市で行われたことがあるか。

◎福祉保健部長 県が平成七年から十年まで実施した航空機騒音による健康への影響に関する調査報告書はあるが、本市が特に調査を実施したこととはございません。

◎指導部長 学校において子供たちの爆音に対する被害等の調査は行っておりません。

◎議員 爆音とか低周波の音でいろんな被害が出ていることを聞いている。その影響として早産、低体重児、健康被害を聞いたりするが、どのように市は考えているか。

◎福祉保健部長 県が実施した調査には、九千万円の費用がかかっており、本市では同様な調査について健康ぎのわん二十一や次世代育成支援計画、その他の計画策定に伴う基礎調査等での関連項目の追加をしたほうが賢明ではないかと考えている。

◎議員 本市は、へりも飛んでおり、ぜひ調査してほしい。

市指定文化財野嵩石畳道の整備等について



◎議員 野嵩から中城村登又区に抜ける県道二九号線の左手斜面の石畳道は、本市の重要な文化財である。保護、活用のための整備は、どのようにされているか。

◎教育部次長 市教育委員会で、文化財標識と説明板及び案内板を設置している。また、周辺の開発工事から守るため、文化財指定境界標識も設置している。

◎議員 次に、県道二九号線の右手斜面だが、そこも重要な文化財であり整備計画もしくは復元計画はあるのか。

◎教育部次長 現状は石畳のほとんどが破壊されているように見受けられるが、琉球王国時代の重要な歴史の道であり、本年度から石畳の残り具合と道筋を調べるための試掘、確認調査を計画している。その調査をもとに今後の整備計画を検討したい。

◎議員 いにしえの歴史と文化を学ぶ大切な史跡です。左手斜面の石畳道同様に保護、復元をしていただきたい。



市指定文化財「野嵩石畳道」

第370回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第36号	平成24年度宜野湾市一般会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議案第37号	外国人住民に係る住民基本台帳制度への移行等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決（全会一致）
議案第38号	宜野湾市学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第39号	宜野湾市暴力団排除条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第40号	宜野湾市シルバーワークプラザの設置及び管理に関する条例及び宜野湾市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第41号	宜野湾市情報産業振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案第42号	宜野湾市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第43号	宜野湾市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
議案第44号	宜野湾市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案第45号	宜野湾市立総合運動場の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について	原案可決（賛成多数）
議案第46号	宜野湾市立学校施設の使用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）
報告第1号	平成23年度宜野湾市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第2号	平成23年度宜野湾市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第3号	平成23年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第4号	平成23年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第5号	平成24年度宜野湾市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画について	報告
報告第6号	平成23年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業報告及び決算報告について	報告
報告第7号	平成24年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業計画及び収支予算について	報告
報告第8号	第三次宜野湾市障がい者福祉計画の策定について	報告
報告第9号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報告
決議案第9号	米軍基地普天間飛行場へのMV-22オスプレイの配備に断固反対する抗議決議	原案可決（全会一致）
意見書第11号	米軍基地普天間飛行場へのMV-22オスプレイの配備に断固反対する意見書	原案可決（全会一致）
意見書第12号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する意見書	原案可決（全会一致）
陳情第38号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第39号	「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第40号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する陳情	採 択（全会一致）
	倉浜衛生施設組合議会議員の補欠選挙について	選 挙
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第36号 沖縄戦遺族のDNA鑑定実施の国への要請 陳情第37号 住宅防音工事規定の見直し作業についての要請 陳情第38号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情	承 認 （総務常任委員会）
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第31号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情	承 認 （経済建設常任委員会）
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第19号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について 陳情第21号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第22号 離島におけるがん患者支援対策推進を求める意見書の採択と県への働きかけを求める要請 陳情第28号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第29号 「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情 陳情第30号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第33号 平成24年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第35号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情 陳情第39号 「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対する意見書提出を求める陳情	承 認 （福祉教育常任委員会）